

平成29年度 旭区運営方針(概要版)



旭区マスコットキャラクター
「しょうぶちゃん」

大阪市旭区役所

「平成29年度 旭区運営方針」の全体については、旭区役所ホームページをご覧ください。
(<http://www.city.osaka.lg.jp/asahi/page/0000397263.html>)

旭区がめざすこと

- ・にぎわいがあり活力ある旭区づくり
- ・子育てしやすい旭区づくり
- ・災害に強い安全で安心な旭区づくり

旭区の役割

- ・地域資源である城北公園などの活用と商店街の活性化によるにぎわいの創出とまちの魅力の情報発信
- ・子育てに関する支援や教育環境を強化するための施策の推進
- ・災害対応能力向上のための施策の推進

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題1

にぎわいがあり活力ある
まちづくりの推進

経営課題2

安心して子育てができる
あたたかいまちづくりの推進

経営課題3

災害に強い、安全で安心な
まちづくりの推進

経営課題4

区民サービスの充実

経営課題1 【にぎわいがあり活力あるまちづくりの推進】

戦略1-1 【にぎわい・活力の創出と商店街振興】

【城北公園を舞台にした魅力づくりと集客力の向上】

- ・城北公園フェア2017
- ・城北公園ファミリーフェア

【旭区魅力発信事業の推進】

- ・区の魅力ホームページ更新
- ・不動産業界への居住魅力情報発信
- ・広報紙・ツイッターでの区の魚(イタセンパラ)のPR
- ・区の魚(イタセンパラ)保全活動
- ・あさひ、だいすき 『旭区検定』の実施

【商業振興事業】

- ・音楽等集客要素を取り入れた区内商店街との連携イベント
- ・区内商店街向け勉強会

めざす状態

地域の賑わいや活性化が進んだと感じる区民の割合(区民モニターアンケート)
平成29年度末 80%
< 前年度実績45.1% >



業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
城北公園フェア2017 区外からの来場者割合	60%以上	64.7%	○	
一般紙における旭区の魅力発信	5件以上	7件	○	
商店街に魅力を感じる区民の割合(区民モニターアンケート)	80%以上	71.3%	×	区内商店街若手メンバーをはじめ横のつながりを強化し、多様なニーズに対応した勉強会の開催に引き続き取り組む。 また、新たな「旭区ブランド・お宝」の認定や区内商店での職業体験などを通じて区内各店舗の魅力発信を行うことで、インバウンドの誘致をはじめとする新たな施策に取り組むきっかけとするなど、商店街の魅力向上につなげていく。



めざす状態	H29実績	達成度
地域の賑わいや活性化が進んだと感じる区民の割合	29年度末 80%	75.6%
		×

戦略1 - 2 【まちづくり活動への市民参加の拡大】

めざす状態

【地域活動協議会の運営支援】

- ・各校下での地域課題を解決するための防犯、子ども・青少年、福祉、健康、環境、文化・スポーツ事業への補助等
- ・会計情報や活動状況を、ホームページ等により公表

住んでいる地域で、日頃から話をする相手がいる区民の割合(区民モニターアンケート)
29年度までに60%以上
<前年度実績76.8%>

【コミュニティの活性化】

- ・区民まつり
- ・スポーツフェスティバル
- ・文化のつどい
- 子どもフェスティバル
- 各種スポーツ大会 の開催



業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
地域が一体となって運営されていると感じている区民の割合(区民モニターアンケート)	60%以上	73.9%	○	
地域活動が行われていることを知っている区民の割合	60%	未測定	○	未計測であるが、代替アンケートの項目で「地域活動に参加したことがある区民の割合」について62.5%という数値結果が出ていることから、目標は達成している。
区民対象のスポーツ大会やレクリエーション活動があることが知っている区民の割合(区民モニターアンケート)	60%	95.5%	○	



めざす状態	H29実績	達成度
住んでいる地域で、日頃から話をする相手がいる区民の割合 29年度までに60%以上	80.0%	○

戦略1 - 3 【生涯学習・人権尊重のまちづくり】

めざす状態

【生涯学習の推進】

- ・生涯学習ルームフェスティバル
- ・夏休みの家族でチャレンジ(子どもに向けた意見教室)などの実施

【人権啓発推進と平和事業】

- ・夏休みふれあいシアター
- ・城北公園フェア等イベントでの啓発ブース出展などの実施

【子ども・青少年の健全育成】

- ・講演会
- ・高校生によるスマホ白熱教室などの実施

区の啓発の取組みの成果が上がっていると思う区民の割合(区民モニターアンケート)
30年度までに 66%以上
< 前年度実績35.4% >



	業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
	主な事業(夏休みの家族でチャレンジ(子ども向け体験教室)、寄席、生涯学習ルームフェスティバル)の認知度(区民モニターアンケート)	50%	60.4%	○	
	「参加により人権意識が高まった」と回答した人の割合(来場者アンケート)	66%以上	89.0%	○	
	区の青少年の健全育成に係る主要取組の内容(子ども110番の家)を認知している区民の割合(区民モニターアンケート)	50%	72.3%	○	



めざす状態	H29実績	達成度
区の啓発の取組みの成果が上がっていると思う区民の割合 30年度までに 66%以上	54.5%	○

経営課題2 【安心して子育てができるあたたかいまちづくりの推進】

戦略2 - 1 【自身の健康に対する重要性の意識付けと介護予防の推進】

めざす状態

【在宅高齢者口腔健診事業】

- ・在宅高齢者で通院できない方を対象に、歯科医師が訪問し、口腔衛生の改善・誤嚥性肺炎の予防・自分の歯で食べることによる健康増進を図る

【あさひ健康フェスタ】

- ・医師会・歯科医師会・薬剤師会及び地域振興会をはじめとする各種団体と協力・連携し、健康意識の高揚と健康づくりへの取組を推進する啓発イベントを実施

【運動機能・認知機能の維持向上】

- ・いきいき百歳体操
- ・認知症予防を啓発する講習会の実施

健康意識の高まりを感じる
区民の割合(区民モニターアンケート)
31年度 80%
< 前年度実績62.3% >



業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
在宅高齢者で通院できない方を対象に口腔健診を行う	年間100人	年間3人	×	チラシを作成し、ケアマネージャーのほか、チラシを歯科医院をはじめとした医療機関や介護事業所等に配布し広く周知を行う。 また、ケアマネージャーへの聞き取り等でニーズを把握し、効果が見込まれる機関に働きかけ利用を促進する。
参加延べ人員	550名以上	628名	○	
百歳体操が筋力の維持増進につながっていると答えた割合(参加者アンケート)	80%	88%	○	
認知症予防プログラム後の自主活動の継続	2グループ以上	6グループ	○	



めざす状態	H29実績	達成度
健康意識の高まりを感じる区民の割合 31年度 80%	70.5%	○

戦略2 - 2 【地域福祉の推進】

【あさひあったかきちの充実】

- ・あさひあったかきちにおける子育て情報の提供
- ・サテライト(千林ふれあい館)での障がい者施設授産製品の物販活動など

【要援護者見守り食事サービス事業】

- ・地域のボランティアの協力を得て、要援護高齢者に対し食事を提供

【福祉ネットワークの構築】

- ・10校下における福祉関係機関・NPO・ボランティア団体等のネットワークの構築

【要援護者に対する地域見守り活動強化】

- ・「見守り庵」による出張相談

【学習のサポート】

- ・小学生を対象とした「放課後おさらい教室」を実施

【「あさひ学び舎事業」の推進】

- ・経済格差が即、教育格差に繋がらないよう、中学生に対し学習支援や体験学習等を行う
- ・「あさひ学び舎」卒業生の高校進学者に対するフォローアップを行う

めざす状態

子育てをサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合

30年度までに50%以上
<前年度実績35.9%>

障がい者をサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合

30年度までに50%以上
<前年度実績36.5%>

高齢者をサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合

30年度までに50%以上
<前年度実績43.5%>

こどもを安全かつ健全に育てる地域や環境となっていると感じる区民の割合

30年度までに40%以上
<前年度実績56.7%>

いずれも区民モニターアンケートの割合

	業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
	満足度(利用者アンケート)	90%以上	80.0%	×	居場所としての定着を図るため開催日を増やし、栄養相談や健康相談、保育所や幼稚園などの子育てサービスの利用に係る情報提供等の定期開催を行うことによって、満足度を向上させる必要がある。
	「参加することによって、地域の方との交流が増えた」と感じる割合(参加者アンケート)	90%以上	96.2%	○	
	地域の状況や生活課題についての情報提供	全10地域	0地域	×	既存のネットワークの整理、現存のNPOの活動状況や活動趣旨の情報収集に努め、現在不足している必要なネットワークを構築。
	孤立世帯等への専門的対応(年間の相談実人員数)	300名以上	434人	○	
	参加児童の基礎的な学力が向上(学校へのアンケート)	全10校	全10校	○	
	効果測定による点数向上割合	平均5%	平均11%	○	

めざす状態

めざす状態	H29実績	達成度
子育てをサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合 30年度までに50%以上	62.7%	○
障がい者をサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合 30年度までに50%以上	64.1%	○
高齢者をサポートする仕組みが整っていると感じる区民の割合 30年度までに50%以上	63.0%	○
子どもを安全かつ健全に育てる地域や環境となっていると感じる区民の割合 30年度までに40%以上	74.4%	○

戦略2 - 3 【総合的な子育て支援】

めざす状態

【子育て支援保健事業】

- ・「マタニティカフェ」の実施
- ・臨床心理士を継続雇用し、相談支援の充実をはかる

【あさひキッズネットの充実・強化】

- ・ネットワーク会議の開催
- ・「あさひキッズカード」配布と利用の促進

【子育て中の親支援事業】

- ・「ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム」の開催
- ・「おかあさんのほっと！タイム」の開催

【児童虐待防止・早期発見・支援体制の強化】

- ・「要保護児童対策地域協議会」の開催
- ・11月の児童虐待防止期間を始めとする広報活動の実施

【こども食堂への支援】

- ・学習サポーター等の派遣
- ・広報等による周知
- ・「旭区こども食堂ネットワーク会議」の開催

子育てに関する相談やサポートに満足している割合
(区民モニターアンケート)
29年度までに50%以上
<前年度実績35.9%>



業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
参加者の満足度	80%以上	98.9%	○	
初回健診時での所持率 (未就学児用)	80%	96.0%	○	
参加者の満足度	80%以上	84.0%	○	
児童虐待防止の仕組みが整っていると感じる区民の割合(乳幼児健診時にアンケートを実施)	70%	80.0%	○	
満足度(参加者アンケート)	80%以上	未測定	○	未測定であるが、ネットワーク会議の開催など、子ども食堂の活動を支援し、すべての運営者から、好意的な意見をいただいている。



めざす状態	H29実績	達成度
子育てに関する相談やサポートに満足している割合	29年度までに50%以上	62.7%
		○

戦略3 - 1 【防災体制の再構築】

【地域住民の命と財産を守る取組み】

- ・大型粉末消火器の追加配備と訓練、使い方PR
- ・災害時要援護者名簿とサポーター(支援者)名簿の更新・整備
- ・要援護者の避難支援訓練

【防災意識の啓発活動と地域災害対策体制の確立】

- ・防災啓発講座
- ・イザ・カエルキャラバン(親子を対象とした防災訓練)
- ・学校の土曜授業
- ・各地域での図上訓練・防災訓練
- ・地域防災リーダー研修
- ・備蓄資材等の配備(折りたたみ式担架など)
- ・通信訓練の実施(MCA無線、衛星携帯電話、5W無線)

【区職員の防災活動の強化】

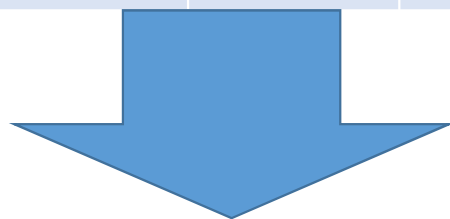
- ・関係機関・地域との合同訓練を実施
- ・直近参集者と緊急区本部員による初動体制訓練の実施

めざす状態

防災訓練にこの3年間で1回以上参加した区民の割合(区民モニターアンケート)
30年度末 27%以上
<前年度実績16.5%>



	業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
	旭区の地域防災体制に満足している区民の割合(区民モニターアンケート)	60%以上	67.6%	○	
	訓練の実施が成果につながっていると回答した区民参加者の割合	80%	77.5%	×	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携して、土曜授業以外での子どもへの防災啓発の機会を調整 ・効果的なPR方法の検討 ・新規受講者の開拓
	区職員の防災体制に満足している区民の割合(区民モニターアンケート)	60%以上	63.8%	○	



めざす状態			H29実績	達成度
・防災訓練にこの3年間で1回以上参加した区民の割合	30年度末	27%以上	21.5%	○

戦略3 - 2 【防犯対策、交通安全・自転車対策の推進】

めざす状態

【防犯対策の強化】

- ・職員による青色防犯パトロール、子どもの安全巡回パトロールの実施
- ・区民協働による自転車盗難防止キャンペーンや旭警察署との合同ひったくり防止キャンペーン等を実施
- ・各世代(子ども、高齢者、子育て世代)向けに防犯教室を開催
- ・落書き防止ペイントや落書き消去活動の実施
- ・防犯カメラの設置

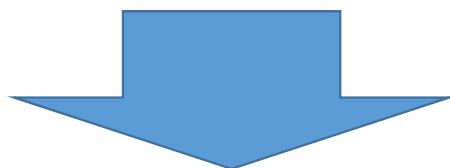
【交通安全・自転車のマナーアップ及び放置自転車対策の強化】

- ・交通安全大会(春秋2回開催)や区民との街頭啓発
- ・街頭や各種イベント会場で啓発等を実施
- ・自転車関連の交通安全教室を開催
- ・駅や中心市街地の特性を踏まえた効率的な撤去の実施

区による防犯の取り組みの成果が上がっていると思う区民の割合(区民モニターアンケート)
29年度までに60%以上
<前年度実績65.5%>

区による交通安全の取り組みの成果が上がっていると思う区民の割合(区民モニターアンケート)
29年度までに60%以上
<前年度実績64.8%>

	業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
	防犯関連の取組みが成果につながっていると回答した区民の割合(区民モニターアンケート)	60%以上	74.7%	○	
	交通安全・自転車対策が成果につながっていると回答した区民の割合(区民モニターアンケート)	60%以上	70.6%	○	



めざす状態	H29実績	達成度
区による防犯の取組みの成果が上がっていると思う区民の割合 29年度までに60%以上	74.7%	○
区による交通安全の取組みの成果が上がっていると思う区民の割合 29年度までに60%以上	70.6%	○

戦略4-1 【区役所の受発信機能の強化】

【区政会議の開催】

- ・区民の意見を区役所の施策や事務事業に反映することで協働による区政運営をめざす
- ・意見や提言などの成果について、区ホームページ等に公表する。

【広報・情報発信】

- ・区広報紙のデザインコンペを実施
- ・ホームページやSNSによる情報発信
- ・区広報紙、区ホームページに区長のコーナーを設け、区長からのメッセージを発信
- ・区ホームページに「地元に戻ろう！旭区に住もう！」のバナーを作成

【広聴・区民モニター活用】

- ・区民モニターの実施
- ・区役所情報コーナーにご意見箱を設置
- ・市民の声等に対する改善事例などを庁舎1Fの庁内掲示板と区ホームページに掲載

めざす状態

区民が求めている情報をわかりやすく提供していると感じている区民の割合（区民モニターアンケート）
平成29年度までに 80%以上
<前年度実績62.9%>



	業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
	区政会議委員の区政会議に対する満足度	80%以上	66.7%	×	<ul style="list-style-type: none"> 資料を簡潔にわかりやすく作成 ご意見の反映状況についての説明 学習会の開催
	区広報に満足している区民の割合(区民モニターアンケート)	80%以上	74.5%	×	<ul style="list-style-type: none"> 区広報紙については、魅力ある情報の発信として増刊月を増やす ホームページ・SNSについては、迅速かつ効果的な情報発信を行う。
	区広聴に満足している区民の割合(区民モニターアンケート)	80%以上	61.3%	×	引き続き、「市民の声」の施策反映事例等を発信し、区民との情報共有に努めるとともに、寄せられるご意見等に対し、より迅速かつ的確に対応する。



めざす状態	H29実績	達成度
区民が求めている情報をわかりやすく提供していると感じている区民の割合 平成29年度までに 80%以上	77.9%	×

戦略4 - 2 【区民から信頼される利便性の高い区役所づくり】

めざす状態

【職員の意識改革、人材マネジメント】

- ・「職員の意識改革」を図り、「6つのムダ」取り・「5S」を行う
- ・意識改革セミナーを実施

【区役所における窓口サービスの向上】

- ・電話対応の言葉づかいについてマニュアル化
- ・「ベベクロファイル」を活用し、引き続き質の高いサービスを提供
- ・マイナンバーカード関連業務おける資質向上
- ・窓口マスターの取り組みを継続実施

【業務スキルの向上のための職員研修の実施】

- ・情報公開研修・個人情報保護研修の実施
- ・職員の公正・公平な職務遂行・法令順守を徹底
- ・その他の職場内研修の実施

【職員の社会貢献活動・市民活動への参加の促進】

- ・職員による社会貢献活動を呼びかけ参加を促進

来庁者への案内や証明書発行をはじめとする窓口業務についてサービスの向上が図られていると感じる区民の割合(区民モニターアンケート)
平成30年度までに 80%以上
< 前年度実績77.0% >



	業績目標	目標値	H29実績	達成度	改善策等
	意識改革により業務全体の再構築が進み、行政サービスの向上につながったと感じる職員の割合	80%以上	未測定	○	未測定であるが、毎月、改革支援チーム会議で各課の取組を報告、着実に意識改革が進み行政サービスの向上につながっていることが窺えた。
	区役所業務の格付けにおける区の平均評価点	3.5() 以上	3.3()	×	低評価にとどまった項目の原因分析を行って弱点を明確化したうえで、区役所内での挨拶を交わし合うなどの雰囲気醸成と職員個々の意識改革に向け、研修等に取り組む。
	研修により業務スキルが向上したと感じる職員の割合	80%以上	96.7%	○	
	コミュニティ育成にかかる地域活動事業や区役所主催行事、居住地における地域活動などへの区役所職員のボランティア参加職員	40%以上 (延べ80人以上)	53.5% (延べ107人)	○	

めざす状態

	H29実績	達成度
来庁者への案内や証明書発行をはじめとする窓口業務についてサービスの向上が図られていると感じる区民の割合 平成30年度までに 80%以上	82.0%	○

区長の自己評価

- ◆ 「にぎわいの創出と魅力の情報発信」については、人口減少や少子高齢化などの外部要因もあり、区民の実感として活性化が進んだという評価には至っていないが、5年間で5万人規模のイベントに成長した「城北公園フェア」のほか、地域活動協議会などが主体となる季節ごとの区民参加イベントの参加者も増えており、成果を上げてきていると認識している。今後は、旭区の地域魅力を効果的に発信し、集客や地域経済の活性化につなげる取組を行う。
- ◆ 「子育て支援」については、こども食堂の組織化や旭塾の全中学校での実施など新たな取組を含め、着実に進化・深化を図ってきた。今後は、旭キッズネットを再編・強化し、旭区版ネウボラの実現をめざす。
- ◆ 「防災・防犯の取組」については、いざというときに実際に機能するかを念頭に置き、地域ごとにきめ細かい取組を進めた。引き続き地域や関係機関との連携のもとで、安全で安心なまちづくりを進めていく。
- ◆ 「区民サービスの充実」については、まだまだ改善の余地が大きく、引き続き重点的に取り組んでいく。